様式第１号（第２条関係）

**水域（公共空地）占用許可申請書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　名古屋港管理組合管理者　様

　　　　　　　　　　　　　申請者

　次のとおり水域（公共空地）を占用したいので、名古屋港の港湾区域内又は港湾隣接地域内における行為の許可に関する条例第２条の規定により許可してください。

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
|  | 平方メートル |
|  |  |
|  |  |
|  | 許　可　の　日から　令和　　年　月　　日まで |
|  | 申請書添付図書のとおり |
|  | 許　可　の　日から　令和　　年　月　　日まで |
|  |  |
|  | １　申請理由書  　２　工事概要説明書  　３　関係監督官庁の許認可・届出書（写）  　４　利害関係人の承諾書（写）  　５　土地使用証明書（登記簿謄本・契約書）（写）  　６　底質土計量証明書（写）  　７　水質データ  　８　位置図  　９　平面図  １０　水域占用面積求積図  １１　構造図  １２　断面図  １３　離着岸操船例図  １４　設計計算書 |

**申請書記入例**

　　１　　　○○市○○町○○番地　地先

　　　　　　　　　　　　　　　○○市○○町○○番地・○○町○○番地　立会　（○○○川）

　　２　　　小数点以下二桁まで算出

　　３　　　桟橋（クレーンが桟橋より海側に上空占用する場合は本欄に記入すること）

　　４　　　桟橋・クレーン

　　５　　　許可の日から令和　　年　　月　　日

　　６　　　申請書添付図書のとおり

　　７　　　名古屋港長等審査期間+施工期間

**添付図書**

　　１　　　①別紙理由書に次の項目について記載すること

　　　　　　　　　　　　　　　　イ　施工場所の現状　　ロ　施工原因　　ハ　施工目的

　　　　　　　　　　　　　　　　ニ　岸壁（桟橋）構造　ホ　取扱貨物

　　２　　　①工事概要　　工事目的、工事名、工事場所、工事期間、工事内容

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　及び請負業者名を記載すること

　　　　　　　　　　　　　　　②施工方法　　イ　工事工程ごとに説明を付すこと

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ロ　工事機器の使用状況を図示すること

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ハ　使用船舶、使用機械の要目を明記すること

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ニ　浚渫工事の場合は次の図書も添付すること

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ａ　底質土の計量証明書（写）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ｂ　土砂捨場、曳航経路、曳航形態等を示す図面

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ホ　潜水工事の場合は次の図書も添付すること

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ａ　作業員の資格証明書（写）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ヘ　杭の打設方法を記載すること

　　　　　　　　　　　　　　　③安全対策書　次の事項を記載すること。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　イ　船舶の輻輳する場所及び狭隘な場所での事故防止の警戒

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　船、警戒員の配備状況並びに警戒要領

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ロ　作業船のアンカーワイヤー、投錨位置等に対する事故防

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　止用標識等の設置状況

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ハ　作業中止基準

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ニ　その他必要事項

　　　　　　　　　　　　　　　④緊急連絡体制表　関係機関及び関係者の電話番号等を記載すること

　　　　　　　　　　　　　　　⑤工事工程表

　　　　　　　　　　　　　　　⑥現況写真

　　３　関係監督官庁許認可　　①例　伊勢湾海難防止協会調査研究報告書

* 届出書（写）　　　　　　　 道路管理者の許可書

　　４　利害関係人の承諾書　　①利害関係人の承諾書が必要の場合は添付すること

　　　　等（写）　　　　　　　承諾書に代え、関係者に説明会を行う場合は、その出席者及び議事録を添付

　　　　　　　　　　　　　　　すること

　　５　　　①背後地の使用権原を証明するもの（土地登記簿謄本・公有地使用貸借契約

　　　　（写）　　　　　　　　書）を添付すること

　　６　底質土計量証明書

　　７　水質データ

　　８　　　①名古屋港の何処の箇所に位置するか判る図面を添付すること

　　９　　　①水面のどの位置に水域占用工作物を設置するか判る図面を添付すること

　　　　　　　　　　　　　　　②護岸法線及び水域占用区域を明示し、赤色を付すこと

　　　　　　　　　　　　　　　③背後の土地使用区域を明示し、黄色を付すこと

　　　　　　　　　　　　　　　④航路に接近している場合、その距離を明示すること

　　　　　　　　　　　　　　　⑤船舶の航行幅が狭隘な箇所については、その航行幅を記載すること

　　　　　　　　　　　　　　　⑥船舶の着岸状況を明示すること

　１０　水域占用面積求積図　　①水域占用面積の求積計算表を図面内に記載すること

　１１　　　①設置工作物の図面を添付すること

　　　　　　　　　　　　　　　②橋梁工事の場合、ＨＷＬと桁の高さをＮＰ値で表示すること

　１２　　　①設置工作物の図面を添付すること

　　　　　　　　　　　　　　　②足場を設置する場合、その断面図を添付すること

　　　　　　　　　　　　　　　③足場の下端とＨＷＬとのクリアランスを記載すること

　１３　　　①船舶の離着岸状況の判る図面（入船・出船）を添付すること

　１４　　　①工作物の構造計算書

②原則として、排水流速は０．３メートル／秒以下にすること

**備考**

　１　工事完了後、水域占用工作物のマイラーフィルム（平面図、断面図、水域占用面積求積図　日本工業規

　　　格Ａ３）を完了の届出書に添付すること（新規水域占用工事又は既存水域占用工作物の形状を変更する

　　　工事の場合のみ）

　２　添付図書は全て日本産業規格Ａ４に折り、タイトルが右下にくるようにすること

　３　申請書及び添付図書は、綴紐で綴じること（背表紙は付けないこと）

　４　提出部数は、正本１部、写３部

**注意**

　１　港湾計画の変更の有無について確認すること　例：　岸壁改良、防舷材取替、増深等の場合

　２　浚渫工事の場合、底質土計量証明書により有害物質が判明したときは、名古屋海上保安部警備救難課へ

　　　照会すること

　３　撤去工事を行う際は、事前に名古屋港長の指導を受けること